

西山享「フリーズの数学 スケッチ帖—数と幾何のきらめき—」

共立出版, 初版第1刷 (2022年7月10日発行)

正誤表

• 第2章 §2.5 p. 24

[誤] 定理 2.18 の主張に訂正が必要. それに伴って証明を書き直す必要あり.

[正] §2.5 全体を http://www.math.aoyama.ac.jp/users/kyo/mybooks/11471_seigo.pdf の内容と置き換える.

• 第3章 §3.1 p. 32, 13行目

[誤] 式の添字がずれている. 文中の式「 $f'_{i-2} + f'_{i-1}$ 」を「 $f'_{i-1} + f'_i$ 」に置き換える.

[正] $f'_{i-1} + f'_i$

• 第3章 §3.1 p. 32, 14行目

[誤] デイスプレイ数式の添字がずれている.

「 $f'_{-1} = 0, f'_0 = 1, f'_1, \dots, f'_{i-2}, f'_{i-2} + f'_{i-1}, f'_{i-1}, \dots, f'_{n-3}$ 」を
「 $f'_{-1} = 0, f'_0 = 1, f'_1, \dots, f'_{i-1}, f'_{i-1} + f'_i, f'_i, \dots, f'_{n-3}$ 」に置き換える.

[正]

$$f'_{-1} = 0, f'_0 = 1, f'_1, \dots, f'_{i-1}, f'_{i-1} + f'_i, f'_i, \dots, f'_{n-3}$$

• 第3章 §3.2 p. 36, 定理3.5 の 4, 5 行目

[誤] デイスプレイ数式2行分の添字がずれている.

「 $\varphi_0, \varphi_1, \varphi_2, \dots, \varphi_{n-2}, \varphi_{n-1}, \varphi_n$ (ここで $\varphi_0 = 1, \varphi_1 = q_1, \varphi_{n-1} = q_{n-1}, \varphi_n = 1$)」を
「 $\varphi_0, \varphi_1, \varphi_2, \dots, \varphi_{n-3}, \varphi_{n-2}, \varphi_{n-1}$ (ここで $\varphi_0 = 1, \varphi_1 = q_1, \varphi_{n-3} = q_{n-1}, \varphi_{n-2} = 1, \varphi_{n-1} = 0$)」
に置き換える.

[正]

$$\varphi_0, \varphi_1, \varphi_2, \dots, \varphi_{n-3}, \varphi_{n-2}, \varphi_{n-1}$$

$$(ここで \varphi_0 = 1, \varphi_1 = q_1, \varphi_{n-3} = q_{n-1}, \varphi_{n-2} = 1, \varphi_{n-1} = 0)$$

• 第4章 §4.3 p. 67

[誤] 定理 4.14 のディスプレイ数式2行分を次のように訂正

(あ) 「 $x_i > 0 (1 \leq i \leq n)$,」を削除

(い) 「 $(1 \leq i \leq m)$ 」を「 $(1 \leq i \leq m, 1 \leq j \leq n)$ 」に置き換える.

[正]

$$\mathfrak{F}_n^+ = \{x \in \mathfrak{F}_n \mid K_i(x_j, \dots, x_{j+i-1}) > 0 (1 \leq i \leq m, 1 \leq j \leq n)\}$$

• 第6章 §6.3, p. 115

[誤] 式 (6.11) の右辺に $(-1)^{\lfloor n/2 \rfloor}$ が必要.

「 $K_n(a_1, a_2, \dots, a_n) = \mathbb{K}_n(a_1, -a_2, a_3, -a_4, \dots, (-1)^{n-1}a_n)$ 実際, 連分数は」を
 「 $K_n(a_1, a_2, \dots, a_n) = (-1)^{\lfloor n/2 \rfloor} \mathbb{K}_n(a_1, -a_2, a_3, -a_4, \dots, (-1)^{n-1}a_n)$ ただし $[x]$ はガウス記号である. 実際, 連分数は」に置き換える

[正]

$$K_n(a_1, a_2, \dots, a_n) = (-1)^{\lfloor n/2 \rfloor} \mathbb{K}_n(a_1, -a_2, a_3, -a_4, \dots, (-1)^{n-1}a_n) \quad (6.11)$$

ただし $[x]$ はガウス記号である. 実際, 連分数は

• 第6章 §6.3, p. 115, 9行目

[誤] 「のように書き直すことができることから, 定理の証明を見ればわかる。」 →
 「のように書き直すことができることから, 定理 6.10 の内容と合致していることがわかる。」

[正] のように書き直すことができることから, 定理 6.10 の内容と合致していることがわかる.

• 第10章 §10.2, p. 189 第14行目

[誤] 対角線の記号が丸括弧 (\dots) ではなく四角括弧 $[\dots]$

「最後の $d_{n-3} = (i_{n-3}, j_{n-3})$ 」を「最後の $d_{n-3} = [i_{n-3}, j_{n-3}]$ 」に置き換える.

[正] 最後の $d_{n-3} = [i_{n-3}, j_{n-3}]$

• 謝辞

初版の誤りを指摘していただいた, 早稲田大学の広中由美子先生, 福知山公立大学情報学部の松尾拓弥さんに感謝します.